

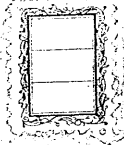
女學生

久保田梁山著

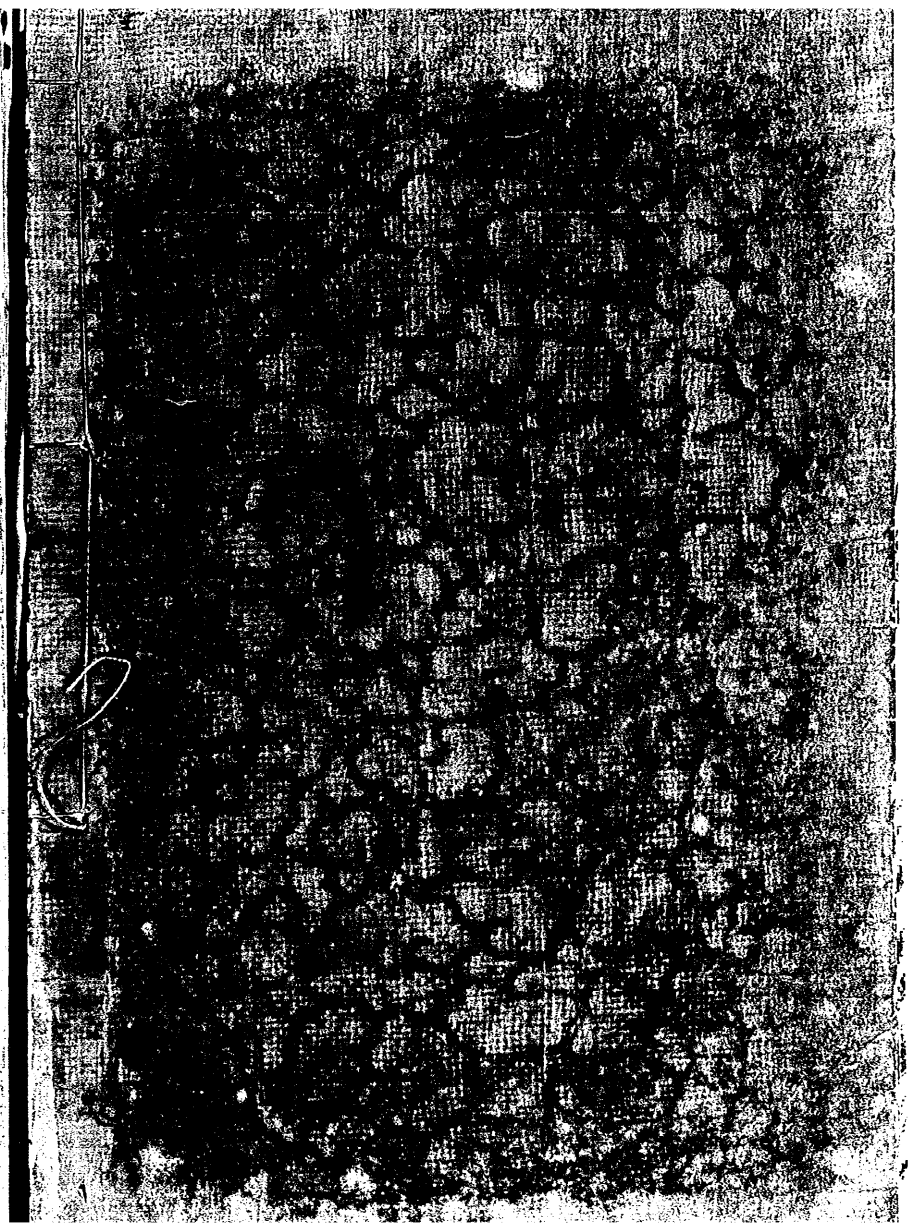
裁縫教授書

下

久保田梁山著



K110.51  
5  
2



久保田梁山著

女學

生徒

# 裁縫教授書下

東京

正榮堂藏

女學裁縫教授書下

裁縫教授書下  
裁縫教授書下  
裁縫教授書下

○ 同女羽織縫方之事

○ 同男羽織縫方之事

○ 同胴裏裁方之事

○ 女合羽裁方之事

○ 同女合羽縫方之事

○ 男合羽裁方之事

女學裁縫教授書

目錄

一 月日裁及

- 同男合羽縫方之事
- 被布裁方之事
- 同縫方之事
- 蚊帳縫方之事 附 蚊帳
- 三布蒲團裁方之事
- 同五布巾裁方之事
- 澗袖裁方之事
- 同裏裁方之事
- 夜着裁方之事
- 同裏裁方之事

- 脊入夜着裁方之事
- 同裏之裁方
- 夜着及脊入澗袖縫方之事

第二級

- 八丈巾一身裁方之事
- 縮緬尺二寸巾一身裁方之事
- 同大巾一身裁方之事
- 八丈尺一寸巾中裁之事
- 並巾車裁之事
- 一身重縫方之事

- 中裁重縫方之事
- 本八丈巾裁方之事
- 絹地單物縫方之事
- 男物重縫方之事
- 縮緬尺三寸巾裁方
- 同尺二寸巾裁方之事
- 女物重縫方之事
- 縮緬尺三寸巾下着圍裁方之事
- 女下着胴拔縫方之事
- 尺三寸巾裙圍裁方之事

○ 廣棧二尺八寸巾三反裁方之事

第一級

- 引返摸樣物之事
- 腰摸樣物之事
- 惣摸樣物之事
- 白無垢之事
- 縮緬尺三寸巾振袖裁之事
- 大中振袖裁方之事
- 振袖之事
- 袴裁方之事

○ 同縫方之事

附録

○ 並巾逆衽三身裁方之事

○ 金巾二尺四寸巾物裁方之事

○ 同二巾物裁方之事

○ 同二尺四寸巾半合羽裁方之事

○ 縮緬大中羽織胴裏裁方之事

女學生 裁縫教授書目錄尾

裁縫問答下

問 本裁打織の裁方

ハ如何のまや

答 先として兩袖を裁

残り丈何尺はなまら

を見て残りを襟し

かり身ころハ前下り

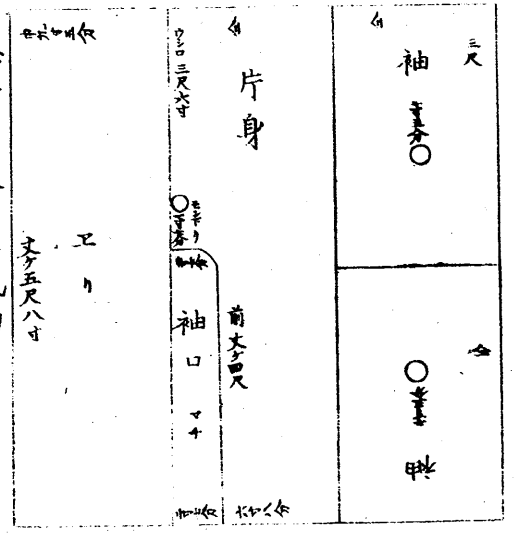
をさめ襟を脇で

前ハしりをかきこ袖

口と襟にまらり

女學生 裁縫教授書下

第三級 羽織本裁



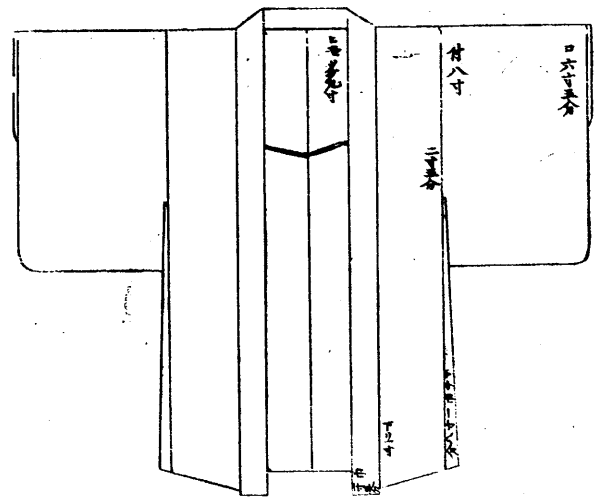
總計二丈七尺裁切

女學生裁縫教授書

内田氏補綴

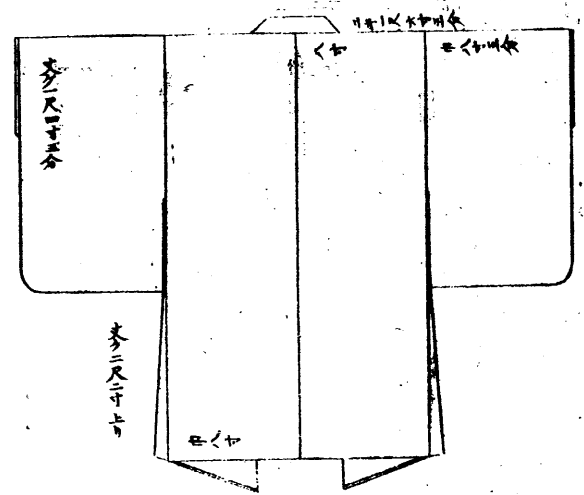
當時ハ長羽織の流行りて反物此たけみトウキヨのハ胴裏木厚くつく故にまハ胴うら此多をもつと身どろをすつとろこをう又ハありをかき落し見かへりにまきをいれ裁方もあり

女羽織正の面



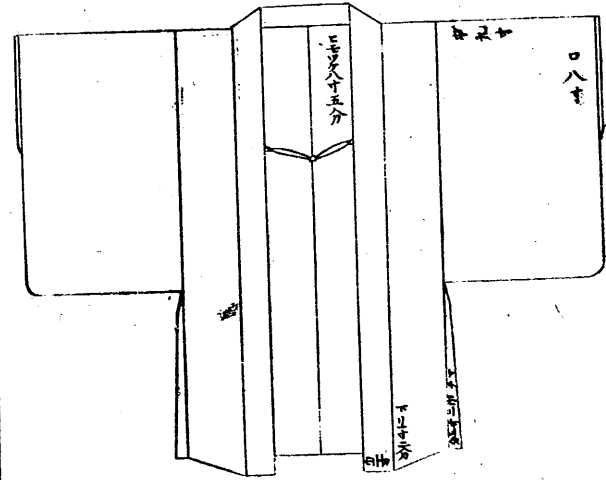
より上等の品は丈け長きゆゑあとのたれを思ひ、裁きよせよ  
問 女羽織の縫方ハ如何にも  
答 裕綿入りも中裁の縫方ハ同一様ぢれとも年齢よりして袖付のねはまじ

女羽織背の面



ことの次第ありも  
 此なれハサチを付  
 了にハ袖付け及ひ  
 つけ下何寸をさの  
 て残り置きて襷を  
 入れ包一ありハ中  
 の切なれハ袷此お  
 んハ袋付られも綿  
 入ハまくに同一つ  
 けとあり

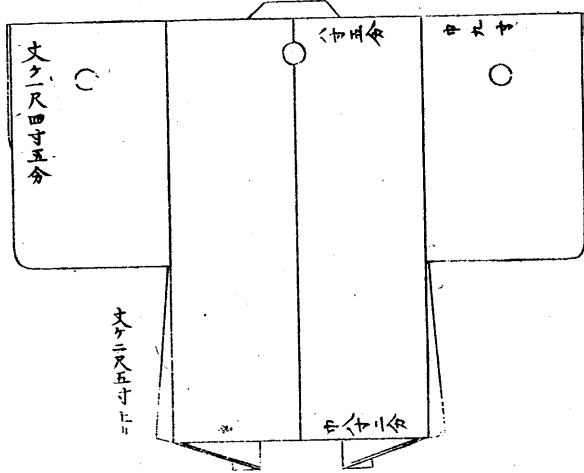
男羽織正の面



問男羽織の縫方ハ如

何にまじりや  
 袷あき付られハ袖ハ前の  
 如く縫置て脊を四  
 縫小して巾をさめ  
 て下りを一てまちを  
 つけとありハ  
 りて印を付をさ  
 て袋付ふせりや  
 又胴たねの如

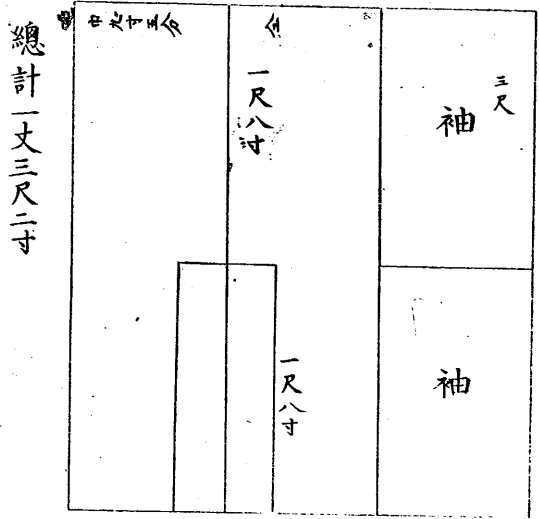
同背の面



女學  
 三  
 小  
 長  
 反

くに裁ものまれと  
も羽織表の丈と見  
返りとの模様にて  
入り尺は多き少き  
此別あれとも先袖丈  
一尺五寸身ごろ二  
尺五寸ゆひ上りよ  
て惣なげ三尺七寸  
ならこれと見て圖の  
如き入り尺をあらかり

方裁裏胴巾並



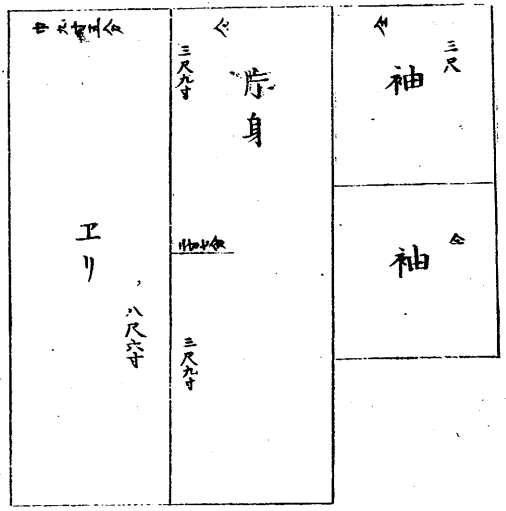
問 女合羽の裁方ハ如

何にそるヤ

答 初小兩袖をとりて

身ごろ何尺と定め  
て裁残りを巾ぎて  
きりにせしめたり又  
袷かぬハ裏地ハ身  
ごろはくへり何寸  
かを引て裁べし五  
りハたそきて袖と

方裁羽合女





身の丈より一寸五分  
り

問女合羽の縫方ハ如

何又モヤ

答表裏の袖をぬひて

身うちハ滑れわきと

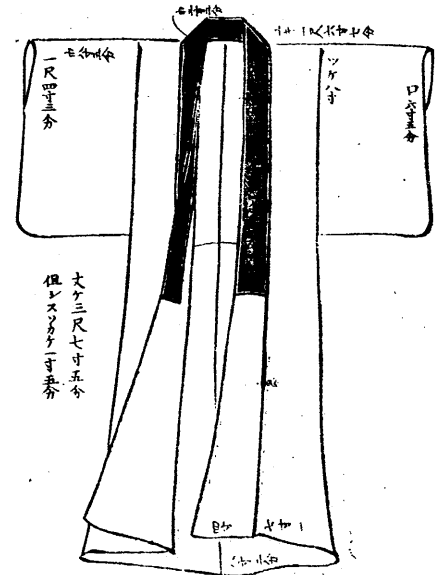
も合ぬひりて

りハ巾の儘にて圖

寸如く小つゆり

單合羽をぬハモヤ

女合羽正



拭を廣くせり

問半合羽の裁方ハ如

何又モヤ

答兩袖をとりて身

ろをきめて裁のこ

りを堅襟と襟とに

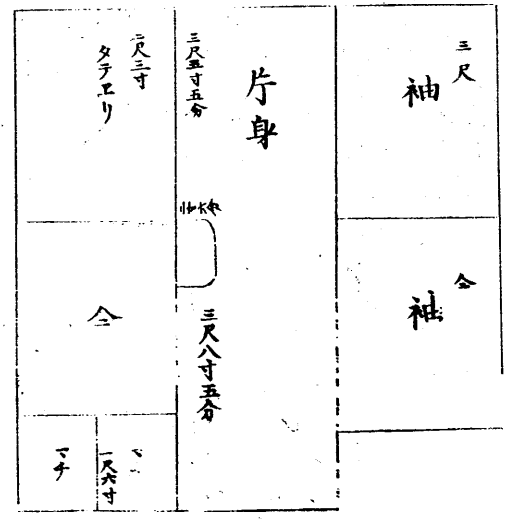
せりわり丈は何尺

見うへり幾らを定

めてより胴うらに

入り尺をつ

半合羽裁方



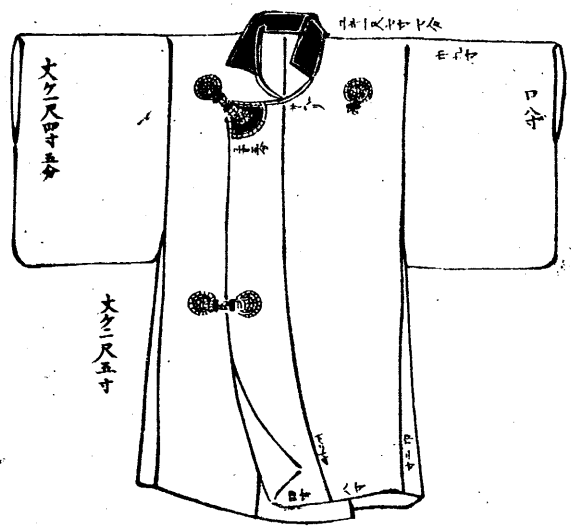
總計二丈七尺

女合羽の縫方

生掛 裁方 被布 裁方 六 寸 日 氏 裁 反

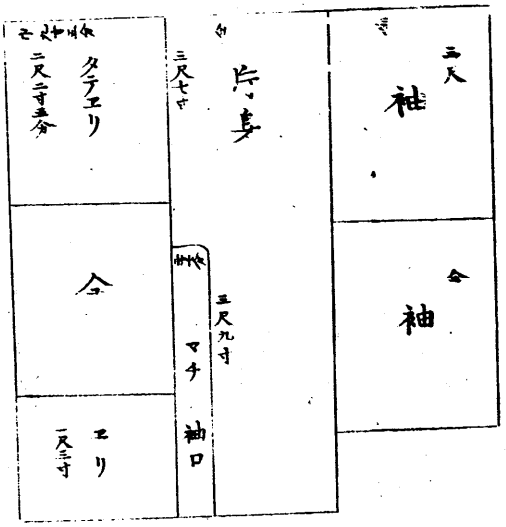
① 半合羽の縫方ハ如  
 何にもヤ  
 ② 袖 裕めハ小一袖  
 下を少一縫 白置  
 襷さきを五六分の  
 中に一 一の袖下  
 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

半合羽正反面



① 袖付をいへり  
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

被布裁方

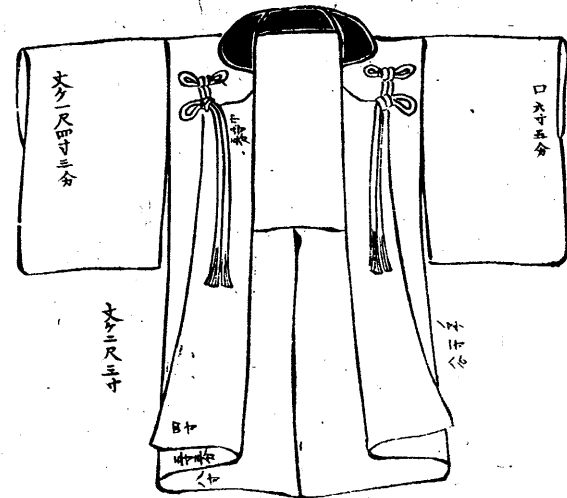


總計二丈七尺

女學 裁方 被布 裁方 六 寸 日 氏 裁 反

をとり身ころ何尺  
をとり返り何尺前  
下り何寸を見て前  
を裁落して襷に  
てのこり此切より  
縦襟をとらなり  
問 被布の縫方ハ如何  
にせらや  
答 袖をゆひて着わさ  
をゆひ襷を入れて

被布の正反面



表とらとの四袖

をつけて縦襟を縫

付襟を付て線を入

れ引くハハハハハ

あけ位置を見て裁

束を付て

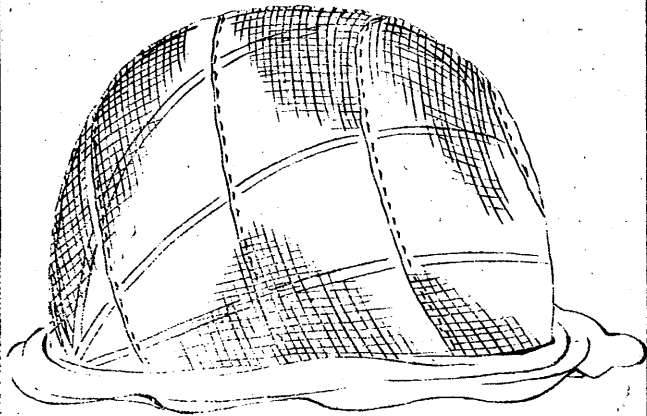
問 蚊帳のゆひ方ハ如

何にせらや

答 ハ五六又ハ七八

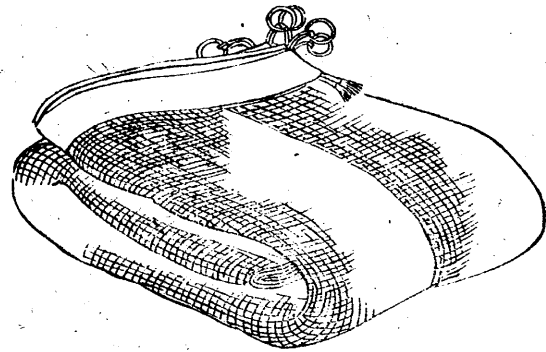
等より中敷さま

母衣の蚊帳の幅



なれどぬい方ハ一  
 布ヲ合セ縫テ夫  
 方上ノ四角ハ當  
 切をしく上の切と  
 四方のなれぬい  
 付て丈より裾を細  
 く折て縫まるとなり  
 又母衣幅ハ圖の如  
 き竹の尺を切  
 れも定めるとなり

蚊 帳



問三布蒲團は裁方ハ  
 如何とぞや

如何とぞや

答二丈七尺の物なれ

ハ六折ふまゝハ一

中四尺五寸とまり

表裏とも通しとな

るなり

問五布蒲團の裁方ハ

如何にぞや

答同ト丈ヶ此品なれ

三の布の蒲團



女學入塾式

裁縫

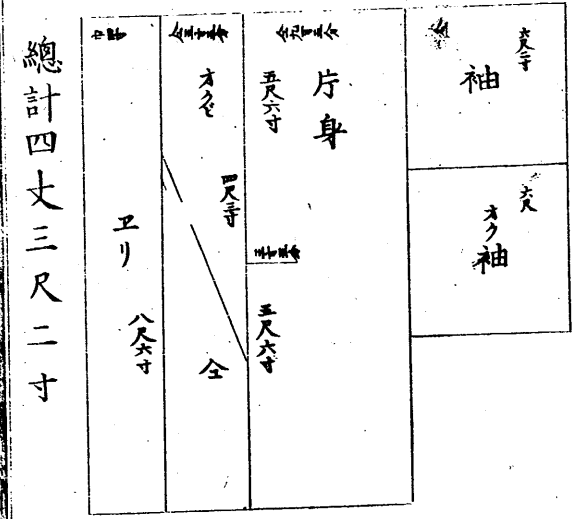
内日片裁縫



生後裁縫書

小用ゆる物ゆいて  
夏ハ薄きを好む故  
にうら地ハ紅小麻  
又ハ淺黄絹なるもの  
輕品を用ゆるな  
り丈ケハ表になら  
いてかへり何寸を  
見込る裁方ハ同ト  
ミあり

方裁裏同

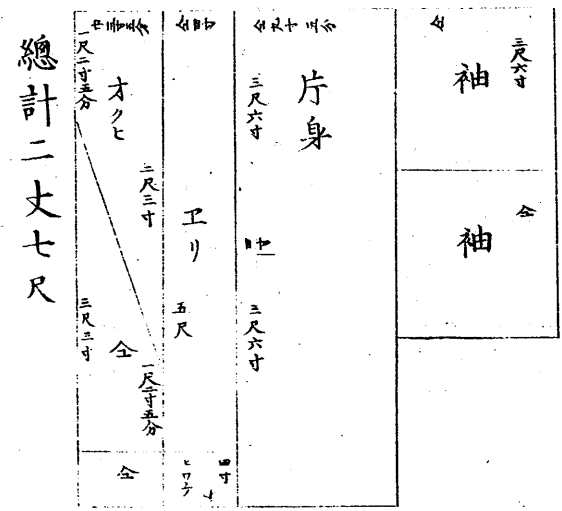


總計四丈三尺二寸

内田洋行

にせろや  
答袖を裁ち身ごろを  
とり残りの切れよ  
り袖下へ入れさひう  
ち何寸をとり残り  
を襟社とちをかり  
又水綿夜着の別つ  
みれとも裁方小別  
つり品ふり丈  
ケ此長短かれとも

方裁着夜



總計二丈七尺

女學 裁縫書 十 内田洋行

生後 五三 縫 裁 方 書

品に出せしハ並の

丈ケ巾あり

問裏地の裁方ハ如何

小まきや

答表と同 裁方ハ

も二反掛の裁方ハ

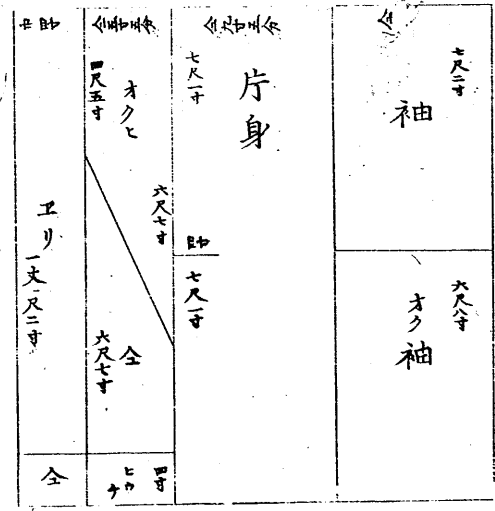
ハ丈ケ長くあり一

反半まきハ一反二

丈位マてもよくし

當時裏地の丈ケ短

同裏裁方



總計五丈四尺

故に二反掛を以

問脊入夜着の裁方ハ

如何とせりや

答夜着と同 裁方ハ

れども脊入はあん

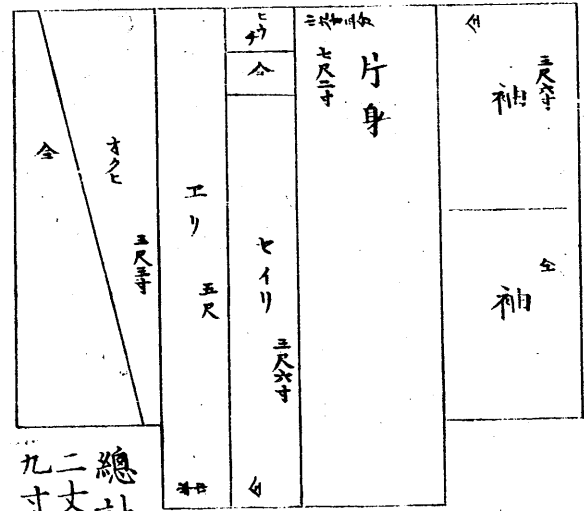
切も多く入りイの

よて鬮の如く一中

より半巾をありと

半巾半巾を脊入に

同脊入裁方



總計五丈四尺

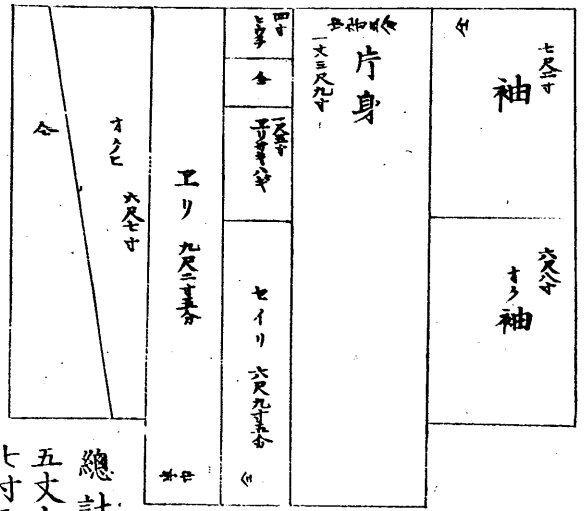
① 襟ハ巾ヲ裁  
ちウハにせぬハ巾  
も廣クなくもあがり

② 同裏の裁方ハ如何  
にせらや

③ 表の裁方に應ず  
一 裾れみのつりと  
惣丈とよよりて裁  
たり

④ 夜着の縫方ハ如

同裏裁方

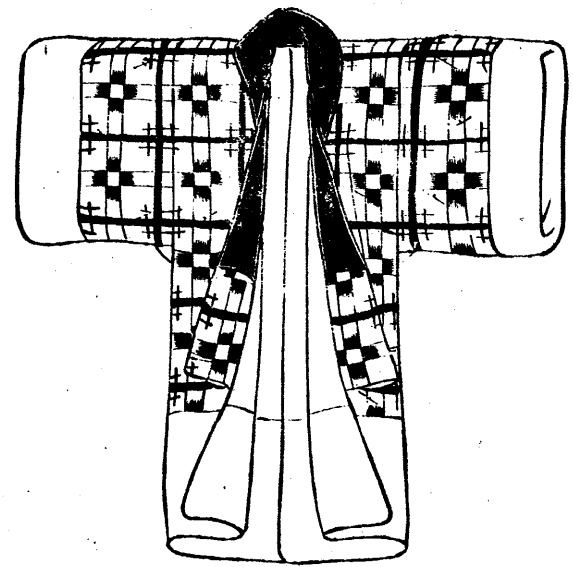


總計  
五丈七尺  
七寸五分

何にせらや

⑤ 先表袖ハ袖吹の切  
れを巾の儘不縫つ  
け置袖下へひうち  
これれをいれ置裏  
奥袖を表袖よりハ  
合襷つめひうちを  
入れ縫置表は脊わ  
きと衽をぬひて支  
より裏ハ背中を朋

夜着正の面







生徒 縫製 縮糸 長書

卷之三

内日月積

問 潤袖の縫方ハ如

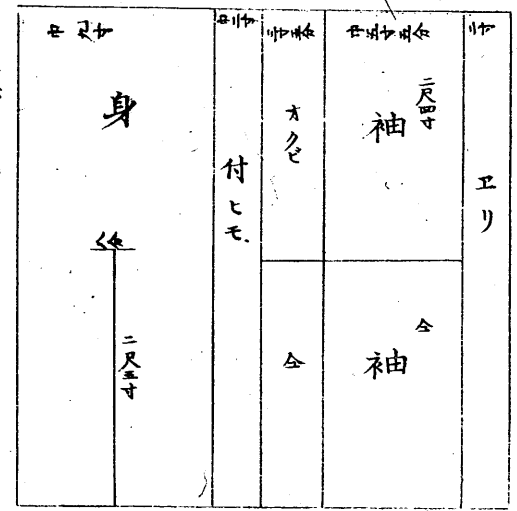
何とせしヤ

答 夜着と同一表と裏

をぬひ袖下ハひう  
ちあぐ大け巾とも  
お夜着よりハ短  
まものあり又脊入  
縫方ハ前小同トセ  
ねとも半巾をハ

方裁身一巾丈八本

總計九尺八寸



問 八丈巾一身の裁方

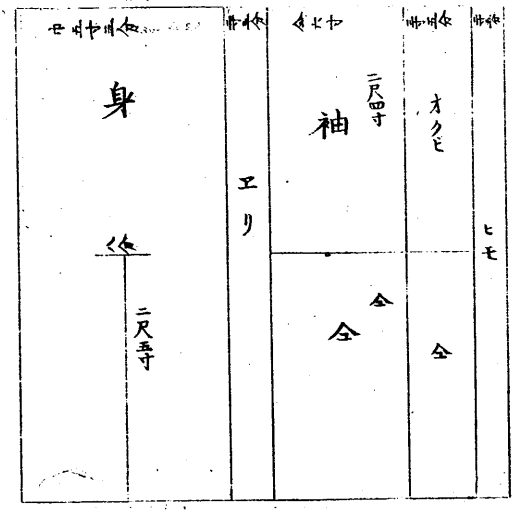
ハ如何にせしヤ

答 一巾まで両袖を裁

袖脇より多うを  
り又わさより社を  
とるべし身ころハ  
巾より紐をたち落  
して残をころ前  
の身とせしめり

方裁身一巾二尺縮

總計九尺八寸



問 縮糸二寸巾一

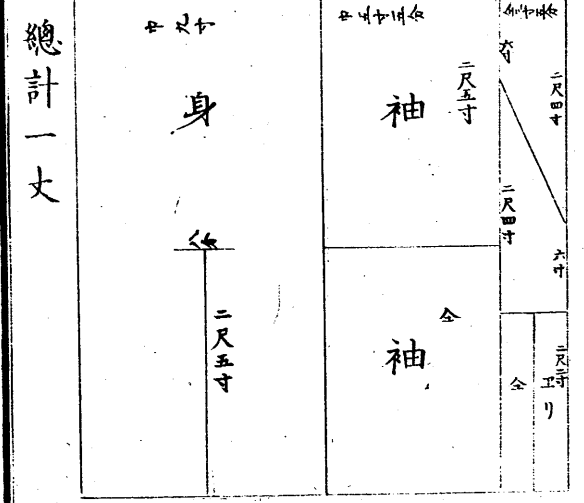
十四 寸目尺長反

の裁方ハ如何ませ  
了ヤ

答 袖脇よりたぐひと  
縫ひとりて身中の  
の脇よりありと落  
すべし尤も中の廣  
く出来りものゆゑ  
二歳以上まで用ひ  
らるゝものなり

問 縮緬大中一身の裁

同大巾一身分裁方



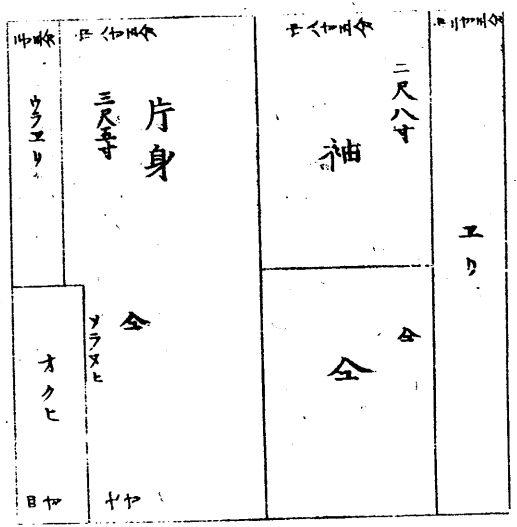
總計一丈

方ハ如何にもせや

答 巾二つぎに小して  
片巾九寸を身の中  
とす片巾九寸小  
て袖とたくびあり  
をらるべし襟ハオ  
ぎになし襟ハヤマ  
ハミナリ

問 八丈尺一寸巾中裁  
ハ如何にせや

八丈尺一寸巾中裁



總計一丈九尺六寸

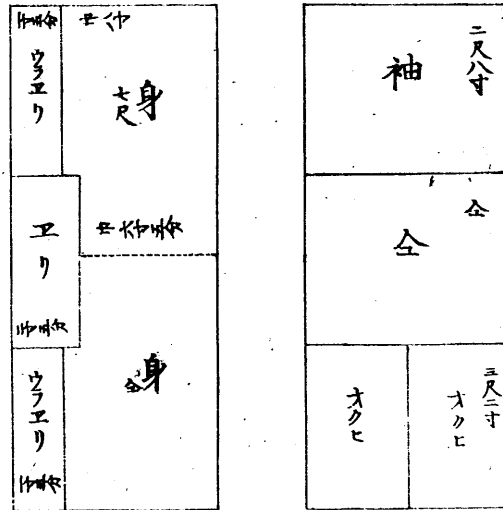
十五 月日七歳反

⑤ 両袖をたちて袖脇より襟をとり身ころハ前にて木とひをすらいまゝを背より裏をとりとちなり

⑥ 並巾車裁ハ如何小

⑦ 巾にて両袖をたち社何尺をとり残り

並巾車裁



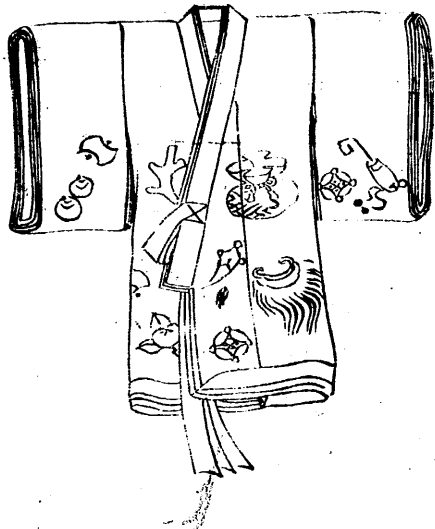
總計二丈二尺八寸

を身ころとハ前巾より多りをとり脊より裏をとりとちなり

⑧ 一身重物の縫方ハ如何

⑨ 上着の袖一尺二寸五分とたぬハ下着の袖ハ四分つまりにて一尺二寸一分

一身重物の正



女學裁書

とろー袖中ハ同ト  
 付ハ二分つまりラ  
 一ハ中二分つり前  
 巾一カ、つめて  
 めひれとび巾ハ上  
 下同ト襟丈け厚靴  
 二分つまりなりぬ  
 り巾及ひ行り丈け  
 襟下ハたゞ一くと  
 ろひて縫あり

中裁重物



④中裁重物縫方ハ如  
 何にせりや

⑤袖口ハ上下とも同  
 トせりに明けて袖

丈け三分つまり襟

丈け襟巾及ひ襟下

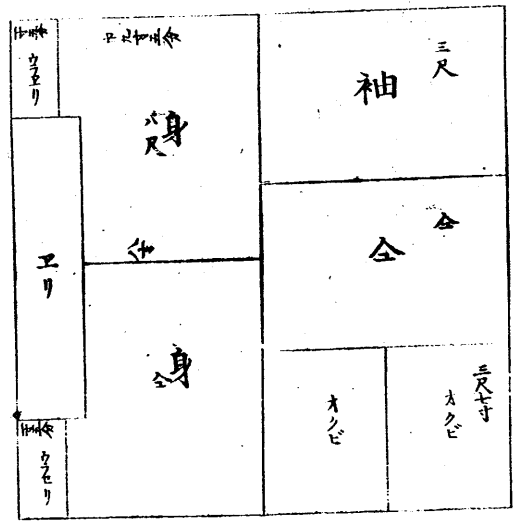
一とろへて縫を

り肩あけ臍ありハ

まろしきあまへし

⑥八丈巾の裁方ハ如

八丈巾裁方



總計二丈五尺七寸

裁縫新法

何にせよや

⑤ 両袖をより残りにて丈け四巾をより

身ころと一て前より

そりをかき脊より

裏襟を落し残り社

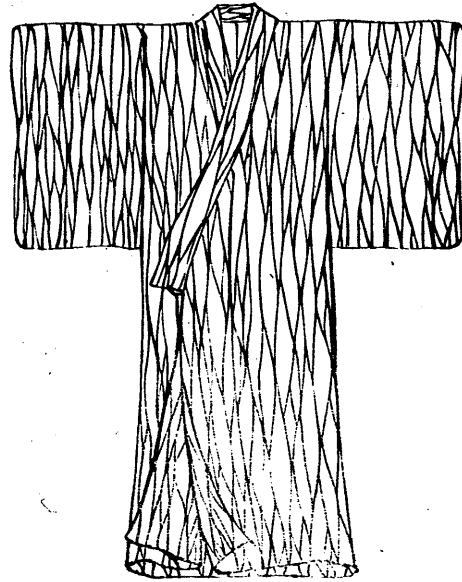
とせよなり

⑥ 絹地単物の縫方ハ

如何よせよや

⑦ 袖を縫て背脇をぬ

絹地単物



いて社を付襟を付

て脊脇ホコもよ

くふせ縫をいそり

當をいけ裾かけ裏

そりをいけ両袖を

つけるなり

⑧ 男物重縫方ハ如何

⑨ 袖丈襟丈ケノ三分

つせうろ前中

分ツつめ袖口あ

男物二枚重

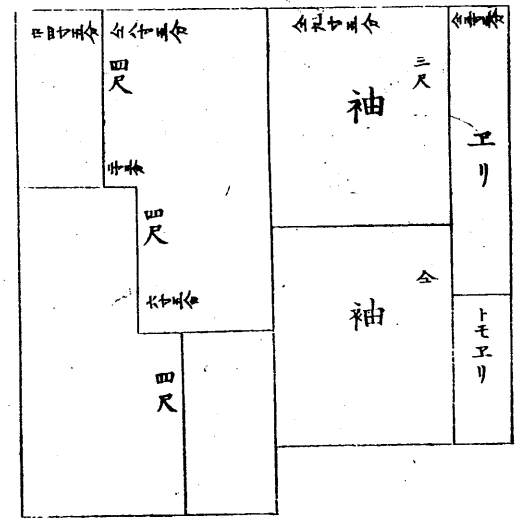


襟下ゆき丈けハ  
 上下とも同ト様に  
 縫て吹ハ二分五リ  
 んより三分とせり  
 あり

⑩ 縮緬尺三寸巾裁方  
 ハ如何よきあり  
 ⑪ 巾のまゝ 兩袖を裁  
 袖脇よりありとせり  
 切をとり穿せりハ裁

縮緬三尺巾裁方

總計一丈八尺

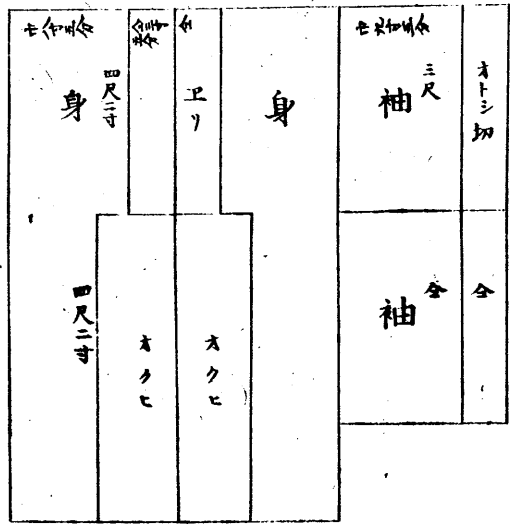


ろつひみりてい  
 ろ巾より襟をとり  
 あり

⑨ 同尺二寸巾の裁方  
 ハ如何にせりや  
 ⑩ 兩袖をなら袖腋よ  
 りも切をせり  
 身ころハ四身に裁  
 前木をみ小せりな  
 り

縮緬二尺巾裁方

總計二丈二尺八寸



國田裁縫研究所

問 女物三枚重の縫方

ハ如何にもちや

答 袖丈ケ後前巾及ひ

行付袖口らまはん

くによりてツれ

下着のつめ方ハ前

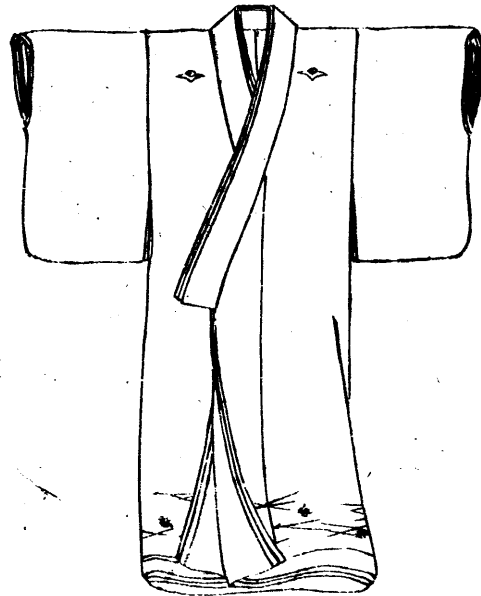
に同ト右袖付ハ二

分つまり巾ハ三分

つり吹ハ四分より

七八分まで出るも

女物三枚重



比々れも年ころに

應ず

問 尺三寸巾下着まじ

り裁方ハ如何

答 一巾より半袖をし

り袖股より社と襟

をより又一巾の股

を落してハッロも

切と切り残しより前

の中とオチケリ

三尺寸下着圍裁方

ウシロ	全	マッロ	ウシロ	半袖	マッロ	ウシロ	全	マッロ	ウシロ	半袖	マッロ
ウシロ	全	マッロ	ウシロ	半袖	マッロ	ウシロ	全	マッロ	ウシロ	半袖	マッロ

總計一丈三尺六寸



問 女下着胴抜の縫方

ハ如何にせよや

答 奥袖へハ口切をハ

ミ半袖とハ合セ

テ袖をゆひ胴も四

裾へハ合セて夫

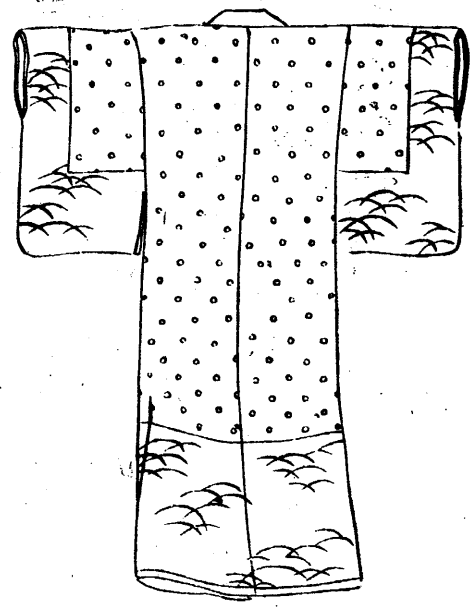
方ハ背腹をゆひ社

も先へハ合セて付け

ありを付裾を合セ

縫にも多量縫て前

女下着胴抜



に出で如くつめ

て縫り

問 尺子巾裙圍の裁方

ハ如何にせよや

答 六尺の切をハ肩

を五寸巾に裁

落して兩社と襟先

にてゆひを四

にゆひて後ろ前へ

ハ四巾とすをゆひ

三尺巾中裙圍裁方

四寸 開	一尺五寸 ウシロ	一尺五寸 ウシロ	四寸 開
二尺 タテツマ	▲ マハ	▲ マハ	二尺 タテツマ
四寸 開	一尺五寸 ウシロ	一尺五寸 ウシロ	四寸 開

總計六尺

問、大巾褌まじりの裁

方ハ如何にもや

答巾のすゝにて後ろ

巾をとり前二巾を

たてふより又残二

さきよりして堅褌

小すも匂り

引返模様此

くすをうらより表

すそへひりりを

大巾褌の裁方

ウシロ	ウシロ	一尺等	ウシロ
全	全	一尺等	ウシロ
全	全	二尺六寸	全
全	全	タテシマ	全

總計四尺五寸

ソ小かり又裏もよ

うハうりより吹ま

てひりり模様な

りす、無地紋附を

登て表よりすをう

ら代通一ちをい

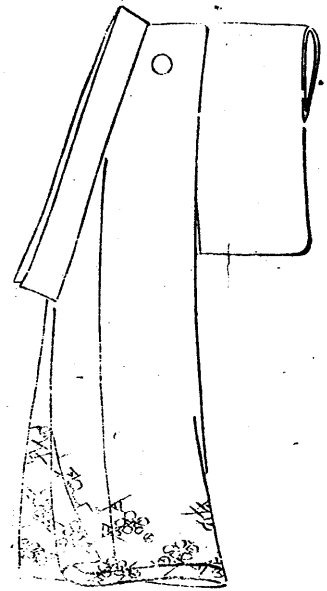
あかり

腰模様ハ圖のこ

とく此とのして又

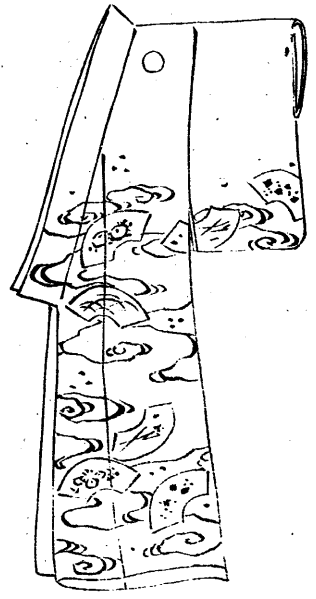
中よりハ腰の上

引返模様の裁方



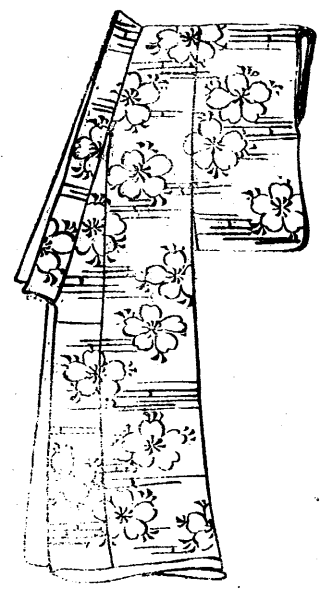
きてつり袖に半分  
 つけてすゝものち  
 りを添出<sup>ぞへ</sup>しものち  
 縫取<sup>ぬい</sup>をもう此別<sup>べつ</sup>あ  
 れとも総<sup>そう</sup>て添出<sup>ぞへ</sup>  
 此<sup>こ</sup>の分<sup>ぶん</sup>り  
 惣模<sup>そうも</sup>様<sup>よう</sup>とい上等<sup>じょうとう</sup>の  
 もの、儀式<sup>ぎしき</sup>に用<sup>もち</sup>の  
 うものすく木<sup>き</sup>ハ堅<sup>かた</sup>  
 わと々又ハ鹿子<sup>かこ</sup>入<sup>い</sup>

腰 模 様



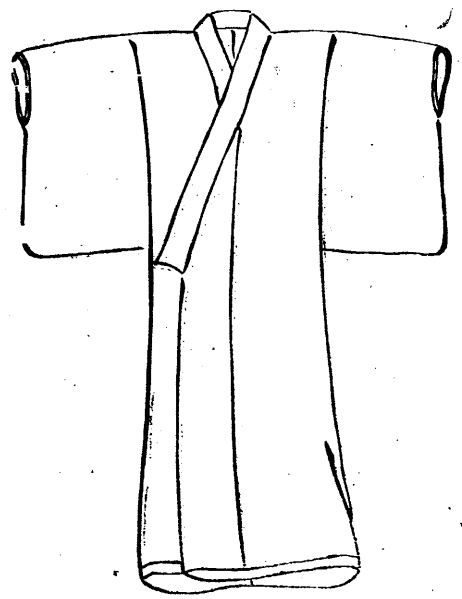
おくを用ゆりつ  
 ち総<sup>そう</sup>てりものち附<sup>つ</sup>  
 裁<sup>ざい</sup>切<sup>き</sup>てより前<sup>まへ</sup>後<sup>ご</sup>  
 袖襟<sup>そでえり</sup>巾<sup>いん</sup>をきりて平<sup>へい</sup>  
 縫<sup>ぬい</sup>をして下<sup>した</sup>繪<sup>え</sup>をか  
 き添<sup>ぞへ</sup>上<sup>あ</sup>けてより縫<sup>ぬい</sup>  
 箔<sup>はく</sup>ハ裏<sup>うら</sup>へちて紙<sup>かみ</sup>を  
 してちんちんもの  
 又<sup>また</sup>仕<sup>し</sup>立<sup>だ</sup>方<sup>かた</sup>もむ  
 フー<sup>フー</sup>さよのゆゑ

惣 模 様



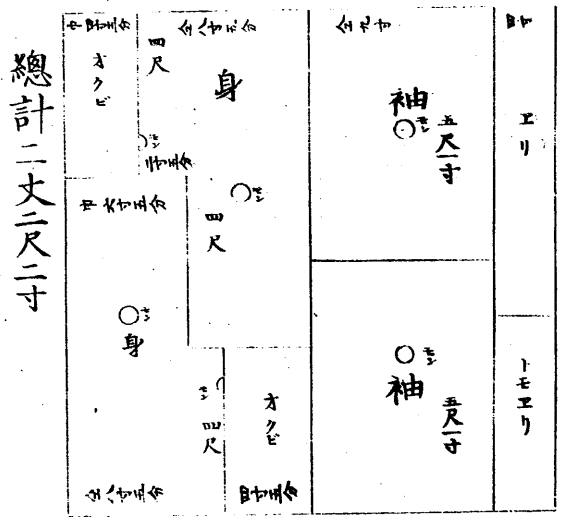
縫製するのやうに  
又白無垢ハ綸子羽  
二重等の類を用ゆ  
るやうに等家にて  
ハ式日に用ゆれども  
平人ハ多く婚姻の  
時に用ゆるやうに  
簡縮廻尺三寸中振袖  
の裁方ハ如何も本

垢無白



答袖一丈二寸を裁い  
兩袖となし袖股を  
りとも襟をとり  
おろりを裁ちてひ  
きりて圖に如く身  
ころとせらるものな  
り  
問同大中振袖裁方ハ  
如何にまらや  
答中の儘ふて五尺六寸

方裁袖振中寸三尺



總計二丈二尺二寸

をうて両袖とな  
 一のうらそ身ころ  
 何尺をちちて又代  
 へんにて表裏のた  
 らびとちちとすべ  
 一圖の如きハチウ  
 襦へ五寸のわくり  
 を見つくりしちれ  
 とも丈け八人の好  
 にすうてをべい

大巾振袖裁方

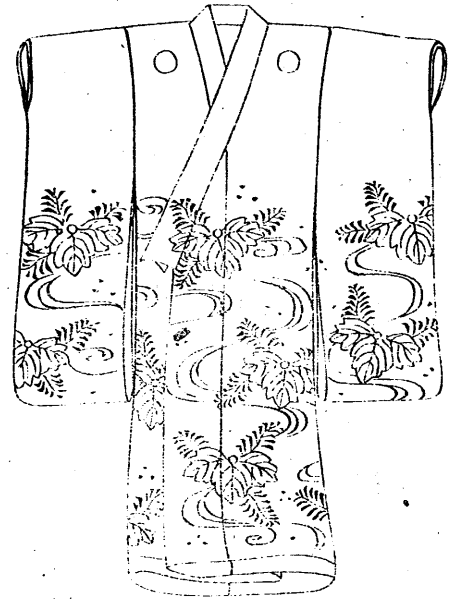
身	身	袖	袖
五尺六寸	五尺六寸	五尺六寸	五尺六寸
エリ五尺	エリ五尺	エリ五尺	エリ五尺
オケヒ	オケヒ	オケヒ	オケヒ
オケヒ	オケヒ	オケヒ	オケヒ
オケヒ	オケヒ	オケヒ	オケヒ

總計二丈

振袖の縫方前より

べいからくれとも  
 形のよく合ふよ  
 縫べし又袖丈けハ  
 二尺五寸より一尺  
 七寸五分位の縫上  
 りよすもはらう又  
 歳とちと大小とに  
 よもちり平常着用  
 の人かれハ裙をき

振袖

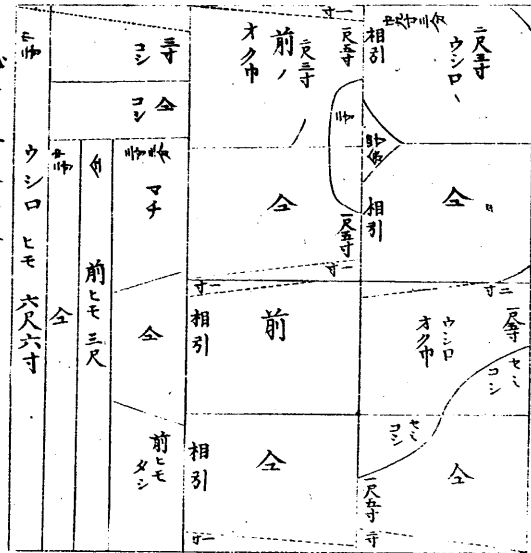


縫方の  
襦下の定めありて  
う丈けりて極めて  
縫ざりて裾吹ハ八分  
以上一寸五分まで  
出すも何り相着ハ  
對無垢又外品に  
てしよ下着ハ白  
を用ゆるものなり

① 襦高袴の裁方ハ如

小倉地九寸三分中袴裁方

總計二丈五尺

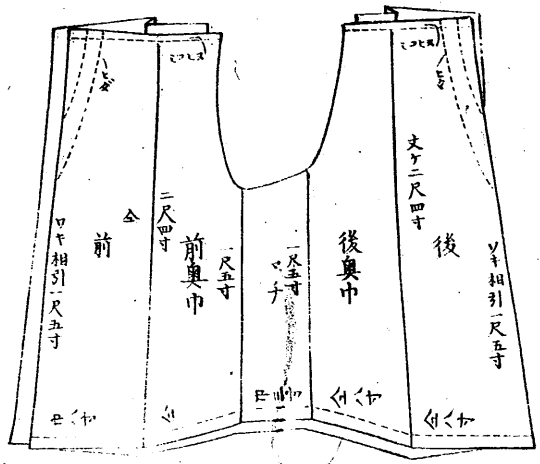


何にもうや

② 先より四尺六寸

すより後相引二  
大巾とあり又四尺  
六寸を二つ奥巾  
と一又二大巾分を  
とよりて前の奥巾と  
してすも二大巾分  
を前の相引とすべ  
しつより三尺六寸

全縫方

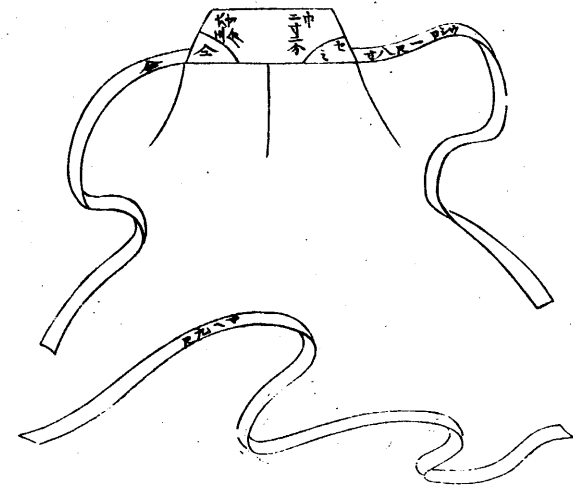


生徒 裁縫 考書  
 内田 清成

を二寸巾ツミで後  
 紐として丈夫に堅  
 六寸をより腰切と  
 かくまゝ二寸つ  
 二た巾を細くして  
 前ひもより残り巾  
 三寸三分を両まも  
 と前ひもにたしと  
 小まゝやり

問 袴の縫方、如何に

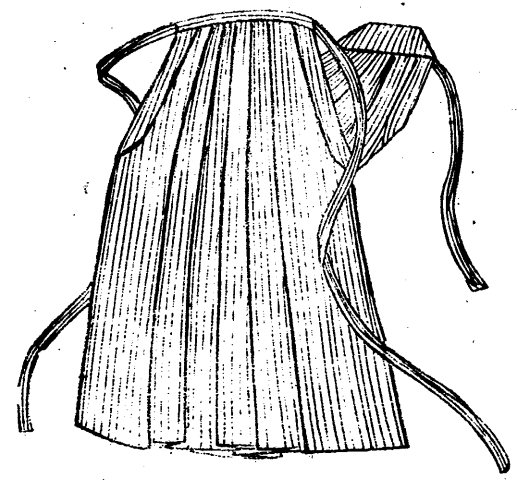
其二



まゝや

答 後の布を巾へす  
 を縫つけ又前奥巾  
 へ付化さ膝を合せ  
 縫て丈夫に作り  
 奥巾へ同じ相引の  
 切を縫付まくらく  
 中へ前相引切とを  
 つけて丈夫に後取  
 此兩相引を合せ縫

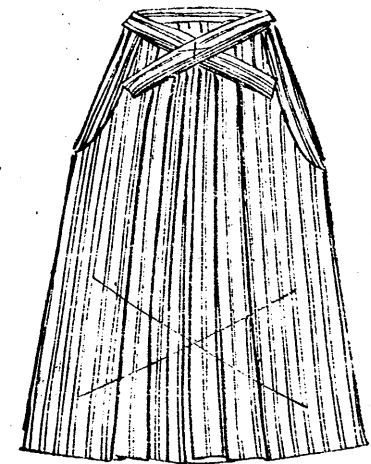
馬乗り袴



裁縫 考書  
 内田 清成

生徒裁縫教授書  
 引の上をひだふと  
 りふと縫を一懸ひ  
 だハ左三ツ右二ツ  
 合せて五ツ小折ぐ  
 一ひだりハぬの中  
 小折ぐも後ハ寸  
 とろして折ぐ前  
 紐をつけて後紐と  
 腰板を付るなり

袴 高 襠

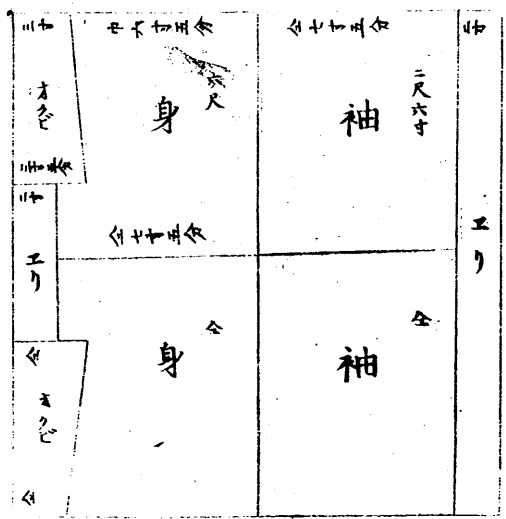


生徒裁縫教授書下終

並申逆不々びハ兩  
 袖を裁袖腕より裏  
 多うをわ身  
 ろハ圖の如く小裁  
 ねとびハ廣さ方を  
 下ハまわーせうれ  
 方をねるが先にし  
 て脊より多うを  
 るなり

附録

逆 衤 三 身 裁 方



○金中二尺四寸中裁

附録

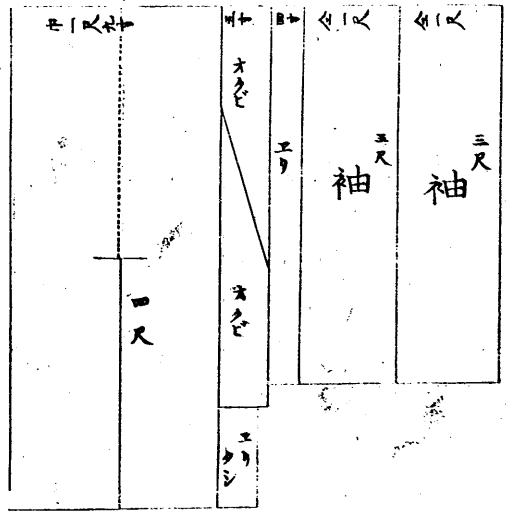
十日裁縫



方ハ巾にて兩袖を  
とり袖股より四寸  
中のまゝをあし  
身ころハ股より五  
寸巾をたふびと  
て残りを後ろまへ  
の四巾とせり  
羽織小も總て巾廣  
物ハまゝを股より  
とせり

裁巾寸四尺二巾金

總計一丈四尺

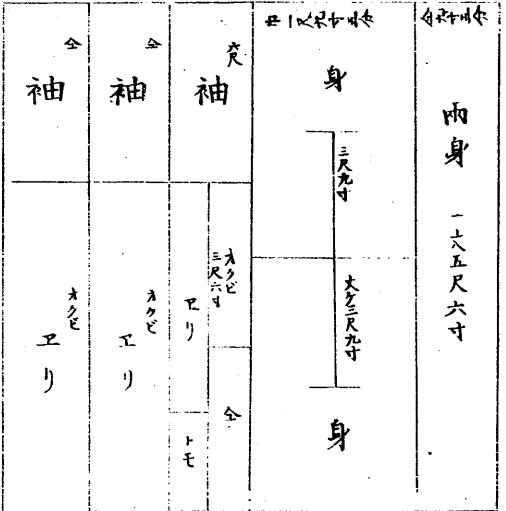


○廣機三反掛裁方

ハ巾のびり身ころ  
三枚分を裁のより  
を登三つさしに  
て三枚分の袖をく  
びまゝとせり  
○縮緬尺二寸中逆社  
の裁方ハ先兩袖を  
とりわきよりとも  
切を添し身ころハ

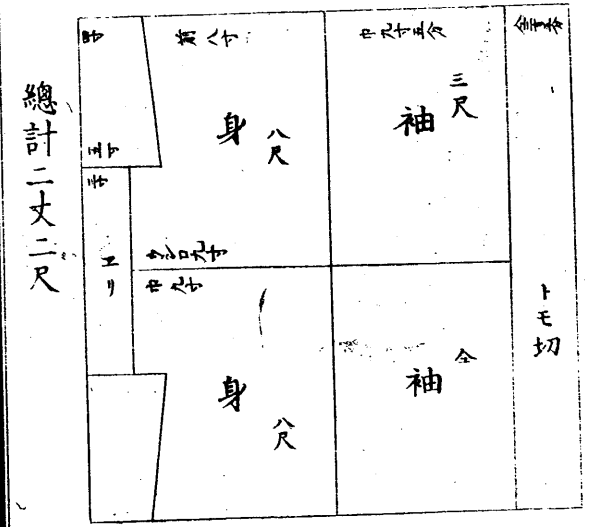
方裁反三巾寸八尺二機廣

總計二丈八尺八寸



○ 胸裏大中の裁方ハ  
 中のまゝ三尺を裁  
 二両袖となりとし  
 り二つ折少して後  
 ろまへ此胸よりす  
 なり

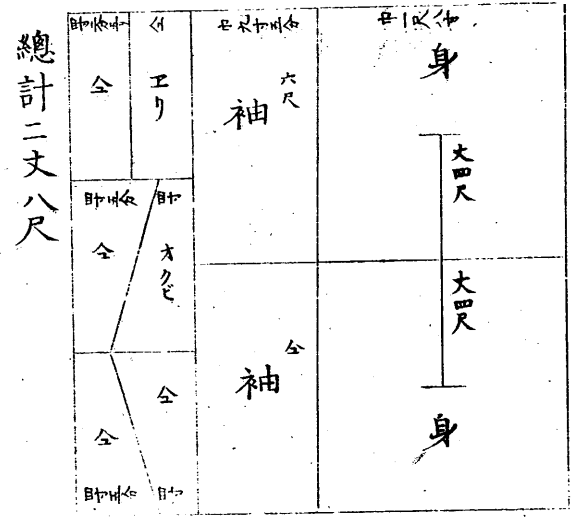
方裁社逆巾寸二尺



○ 金巾二巾もの裁

方ハ半つ一丈六尺  
 を二た身より裁に  
 してのしりを二つ  
 さきにして片巾を  
 二枚のそとを  
 片巾を圖の如く二  
 二枚のありねとび  
 とをなす

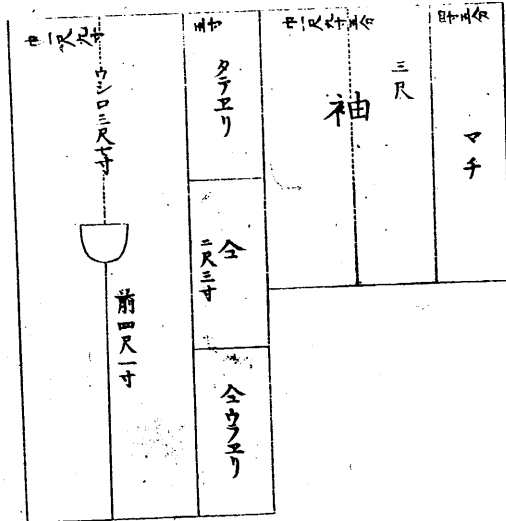
方裁巾二巾金



巾のよう、兩袖をた  
ち袖わきより、襟を  
とりのくちを身こ  
ろとて又わきよ  
り表うらは、堅さを  
をれと、身ころあ  
二つよわり前下り  
番のこくくよを  
肩をくくく

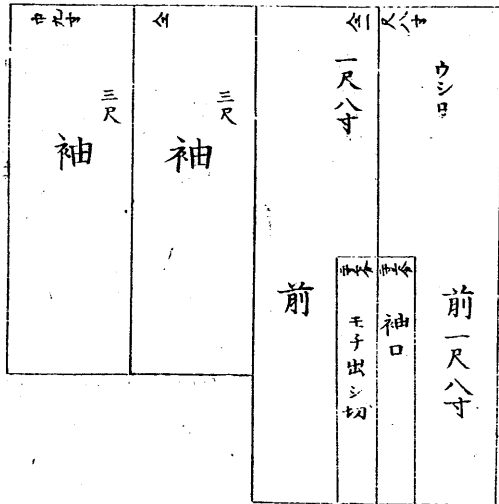
方裁羽合半巾金

總計一丈〇八寸



方裁中大裏胴織羽

總計六尺六寸



K110,51~5-2

生徒表續卷抄書  
内田氏藩譜

附錄  
終

板權免許明治十年上月六日  
開刻 同十一年二月十日

著者

静岡縣士族

久保田梁山

第五大區四區外神田  
五軒町一番地

出版人

東京府平民

内田彌兵衛

第一大區上小區横山町  
二丁目十六番地